

第7期（平成27年度）

事業計画書・収支予算書

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

一般社団法人全国交通信号工事技術普及協会

平成27年度事業計画

交通信号施設工事技術の向上と交通信号施設工事業界の健全な発展を図ることを目的に、この協会を設立し、すでに6年目を迎えております。この間、重点施策として交通信号工事士技能検定試験の実施、技術講習会の実施、信号工事施工ハンドブックの編纂を掲げてまいりました。

また、大災害で被害を被った交通信号施設の復旧工事を全国から支援するための、いわゆる防災協定を三重県警察本部と締結したり、信号工事従事者の技量を競う信号甲子園と銘打った競技会を開催するなどして、これらの施策を軌道に乗せることができ、かなりの成果を上げてきたものと思料しております。

しかしながら、これらの成果の殆どが信号工事技術の向上に関わるものが主体であります。

業界の健全化に向け、さらに業界関係者の経営に寄与する諸々の課題や展望については、その解決すべき方策を策定し、その実現に向けてそれなりの努力をしてまいりましたが、残念ながら目に見えた成果を上げることができませんでした。

それでもこれまでの活動が多くの関係者の理解を賜ることができ、さらにもう少し努力すれば実質的な成果が得られる段階にまで来ているものと確信しております。

会員の皆様方は、技術・技能の継承者不足の問題を抱え、技術レベルの確保と向上に苦勞されておられるかもしれません。また様々な問題が発生しているにも関わらず、これを相談できるところがなくて、一人悩んでいる方もおられるかもしれません。

このようなことの解決に向けて会員の皆様方の真に期待する施策を実行し、目に見える成果を上げるべく一層の努力を払います。

このためには、理事の方々を中心に、再度会員の皆様のご意見や要望を真摯に聞ける機会を設け、さらには多事諸々の悩みなども気軽に話し合える場を設けて、会員の皆様に役立つ協会運営を目指します。

資料5

また同様に、業界の課題や展望についても、会員の皆様方の要望や意見を聞き、これを尊重して、引き続き関係多方面への働きがけを励行してまいります。

それにつけても、当協会は社会的に極めて健全な運営を行っており、会員の方々が今後も引き続き協会の制定したコンプライアンス規程を遵守してくださるよう周知徹底してまいります。

以上のことを踏まえ、平成27年度は下記事業を実施してまいります。

記

1. 調査研究事業

(1) 技術資料の編纂

高度な専門技術を網羅した技術資料（工事設計編、保守編、安全管理編）を作成する。

(2) 工事技術の標準化

工事及び保守業務の効率化、適正化、全国的支援の容易さを目指して、標準化について調査検討する。

2. 調査研究成果の普及事業

(1) 交通信号工事施工ハンドブックを会員以外にも販売し、各種講習会や交通信号工事士技能検定試験などにも活用を図る。

(2) 交通信号工事施工ハンドブックの改定要望に応えるための情報収集を行う。

3. 技術・技能研修事業

交通信号工事士更新講習会及び交通信号工事技術講習会（自己研鑽講習会）を次のとおり実施する。

(1) 期 日 4月初旬から5月下旬

(2) 場 所 北海道、岩手県、埼玉県、東京都（3回）、神奈川県
愛知県、大阪府（2回）、岡山県、福岡県

(3) 講義内容

(ア) 交通信号制御機の構成と機能性能

(イ) 交通信号機の基礎知識

(ウ) 安全管理の方法

4. 交通信号工事士技能検定事業

高度な信号工事技術の普及を促進するため、前年度に引き続き会員以外にも門戸を開放した交通信号工事士技能検定試験を実施する。

また、資格保有者の増強を図るため、受験募集するための広報活動を推進する。

(1) 交通信号工事士技能検定試験の実施

期 日 平成27年8月2日(日)

場 所 北海道、宮城県、東京都、新潟県、愛知県、大阪府、香川県、
福岡県

試験科目 一般共通試験及び実技筆記試験

試験内容 当協会出版の「交通信号工事施工ハンドブック」より出題する。

5. 協会の目的達成に必要な事業

(1) 「災害時における交通安全施設の復旧に関する協定」に基づく対応

三重県警と締結した「災害時における交通安全施設の復旧に関する協定」に的確に対応するための具体的な方策の策定と協会の体制の整備を図るとともに、三重県以外にも協定が締結できるよう、各関係行政機関に働きかける。

(2) 会員の維持・拡大

ア 広報活動

会員はもとより、その他の関係者や一般の方々にも興味ある内容の掲載並びに最新技術の情報収集、提供に努める。

(ア) 当協会ホームページの効果的運営

交通信号工事士への連絡・周知事項を徹底することなど、当協会ホームページの効果的運営を図る。

(イ) 広報誌発行

(ウ) 情報収集活動の推進

会員の当協会に対するニーズの把握や交通システムの技術情報等の情報収集活動を推進する。

イ 会員募集活動の推進

当協会の存在意義や役割・活動内容について、意見交換できる機会を積極的に設ける。

(3) 信号工事甲子園の開催

災害時における交通安全施設復旧方策や交通信号工事の技術向上、新技術の取得、新人教育、信号工事工法の標準化を目的として、前年度に引き続き、「信号工事甲子園」の名称のもと、技術競技会を三重県及び関東地区で実施する。

(4) 喫緊の課題の解決

ア 仕様、標準化、調達等の課題や問題点を検討整理して、その改善方を行政関係者に働きかけ、改善を図る。

イ 一般社団法人交通工学会と連携して、交通信号工事の社会的評価の向上に努める。